

平成28年度第3回運営委員会報告

日時：平成28年7月XX日（X）XX時30分～XX時10分 場所：並木小学校PTA室

審議事項

1. 来年度のPTA役員、委員選考について

（会長より）並木小PTAは現在、ポイント制（*子ども1人につき1ポイント計算でPTA委員を負担すること）によって運営されており、ポイント制から抜け出られるかということを考えております。今運営されている役員・委員数はH18年度（****PTA元会長）に設定された委員定数に従っています。当時の議事録から以下のことが分かりました。

10年前のH18年度、並木小では児童数減少に伴うPTA組織の改革（リストラ）が必要だった。そのため、「子ども1人につき1ポイント」を起点とする委員数のリストラを行った。設定委員数は児童数の6分の1が目安。当時、児童数が10年で654人→421人となり引き受け委員数が足りないという問題が顕在化していた。リストラ時の業務内容の取捨は各委員会に任せた。ボランティアグループのことは全く念頭にない。男女比率のことも気にしていない。文化・校外等委員はリストラされ、学年委員はリストラしなかった。児童数421人、会員数331人は、H28年度と同等である。

H28年度並木小PTAの挑戦（案）として「子ども1人につき1ポイント」を停止できるか。強制に頼るのではなく自律性を重視して委員会が成立するか。いきなりの変革は無理なので、中間的な状態を作りたいというのが現在の狙いです。

選考委員会による募集は平年通り目標を設定して行ってもらいます。

①子ども1人につき1役のポイント制の変革（提案）

現在、並木小PTAは「子ども1人につき1役」のポイント制となっている。「ポイント制」の強制に頼るのではなく自律性を重視した選考にできないかを検討したい。目安としては、「保護者1人1役程度」が実現できれば全体としては運営維持ができる。この場合、父親の出動が必要となります。

②校外生活委員会の「地域別募集」（提案）

学年委員会の「学年別の軸」に対して、校外生活委員会に「地域別の軸」を担ってもらう。10年前のリストラ時に地域別の招集から学年別の招集に変わっている。他校では地域別招集を行っているところがある。地域別に校外生活委員会を選出することにより、地域の特徴にあった安全・防犯を真剣に考えることができ、委員選出をまかなえない地域（梅園等）は学年別からの委員招集で補う必要がある。現在は地域安全の調査機関になっており、夏祭りなどを行う際に動ける委員数がないという問題が出て、つねに人が動けるようにした方が良く考えます。先日行われました区長参加の地域を中心にした防災会議などに参加出来たら良いのではないかと考え、学年別の招集よりも地域別の招集が良いのではないのでしょうか。

③文化委員会と学年委員会のコラボレーション（提案）

両委員会は仕事が似ている。文化委員会の仕事量が比較的大きいため、双方の仕事を取捨選択していただき、仕事内容の似ている学年委員会とコラボレーションすることによって、仕事のバランス適正化を狙う。

④PTA本部からイベント対応のボランティアグループを立ち上げる（予定）

地域に根ざした体育・文化的な活動が出来ないかと考えます。並木夏祭りへの参加は先日のアンケート結果（内容）から考えるとかなり難しいものがあるようです。本部の提案で「イベントAチーム（仮称）」を新設することにより、前回提案しました体育委員会がこれに当てはまり、運動会は季節的なものなので、他校

で実施されている防災キャンプやその他イベントを企画運営してもらうことを考えている。委員会として設立しても良かったが、ボランティアグループとして設立する予定です。****副会長からチームリーダーとして立候補をいただいております。参加者が集まれば旗を揚げられる形になっております。親子視聴覚を、上記イベントチーム（ボランティア）が引き継げるような方向性も検討したい。

他には、以前、給食の写真が並木小HPに掲載されておりましたので、小学校からの再開をお願いしたいと思っております。

(会長より)各委員会に持ち帰り、内容の検討を図っていただき、ご意見をまとめていただきたい。それにより、PTAの方向性が出てきたらと思っております。現時点では本部から提案するイベントチームだけでも設立できればと考えております。

並木小HPへ給食の写真再開についての確認

(教頭より)給食の写真は以前、どのような形で行われましたか。

(インターネットボランティアより)前任の**教務主任が学校のHPに給食の写真を載せていたようです。

校外生活委員会の「地区別募集について」の審議

(校外生活委員より)現段階で具体的な人数をどう考えていますか。地区割りだと8地域になりますが。

(会長より)以前の地区割りだと8地域になりますが、行う業務内容が増えるということは考えておらず、困ったときに動員出来る委員を確保するという事を考えています。子どもが多いところは委員数を多めに設定し、極端に言えば、仕事を行わない委員がいても良いのではないかと考えます。ただし、何か動員をかけたときに参加できるようにしてほしい。具体的な人数は8~15人程度を考えています。現在の業務は今の人数でこなせると思いますが、信号の点検に行くとか、何か変わったときに確認に行くなどの仕事を行って欲しい。

(副会長より)選考委員会から出される次年度の役員・委員募集に関するアンケートは次回(9/X)運営委員会時には内容を決めておく必要がありますね。

(会長より)Questant(クエスタント)による協力はいたします。もし、アレンジ出来るとしたら選考委員会から出すアンケートの文面になりますので、いろんな情報を収集しておいて、最終的にDecision(=ディシジョン:以下、意思決定)する。意思決定に関しては次回の運営委員会後でも大丈夫ですが、アンケートの実施に関しては次回の運営委員会前に決めておく必要がある。集計までは時間がある。

(副会長より)募集をかけるに当たってここで決めておくことは。

(会長より)イベントチームに関しては新たに募集をかける。文化・学年委員会のコラボレーションに関してはアンケートに業務内容を書いても良いのではないのでしょうか。やりたいかやりたくないか、それでご判断していただくことになる。ある程度の情報を記入しておくことで、契約書みたいな内容でとらえてもらえればと思います。

(校外生活委員より)この場で、地域別募集にするかは決められない。具体的にいつぐらいまでに決めておいた方が良いですか。

(会長より)集計する時までに決めておいた方が良いのではないのでしょうか。選考アンケートの中に住んでいる地域を書く欄を設け、結果を見て、地域別にするのか、学年別にするのか決定すれば良い。アンケートには地域別に招集する可能性はあるということも書いておいた方が良くと思いますが、恐らく記入する際、困ることはないかと思います。

(校外生活委員より)当時の区割りと今の児童数分布がどうなるのか分からない。

(会長より)それは分からないけど、アンケートを実施することによって、一度に調査することが出来る。入学時に学校へ提出した地区割りの地図があるが、今回の選考に関しては自分で記入して提出してもらいたいと考えています。今回は委員をやっても良いという方が自分で書いて提出するものだから、手を挙げる方が誰も出てこない地区は考えないといけません、そのようなことはないのではないかと考えております。

(校外生活委員より)アンケートを実際にとってみないとどういう形になるか分かりませんが、地区別招集が可能であればなるべくいろんな地区から委員を集めた方が良くということですね。しかし、委員が出なか

った場合、どうしてもその地区から探さなくてはいけないということではありませんね。

(会長より) そうです。「任意が基本」で考えていただきたい。学年別招集にメリットがないとは思っていません。今までもそうでしたので。ただ、その地区に住んでいる方々の方が地区の状況を把握していると思っております。

→地区別募集について、校外生活委員会にて検討し意見をまとめることが承認されました。

文化委員会と学年委員会のコラボレーションについての審議

(会長より) 文化委員会の大きな仕事は親子視聴覚であり、その他の講座に関して、講座毎に各学年委員さんと一緒に行くことは出来ないのかなと考えます。親子視聴覚の開催が難しいようだったらボランティアグループに手伝ってもらおうというのはどうでしょうか。活動を行っている時間が基本昼間であるという点もどうにかした方が良くと考え、何とか分担できないかと考えます。親子視聴覚やその他の講座においてのそのような状況の改善を図りたい。文化委員の招集は学年から行っており、出は同じなので、何とか一緒に行くことで解決出来ないかと考えております。

(文化委員より) 市から毎月活動費が出るので資金運営的には難しいが、講師の方をお呼びして活動を共にするというのは回数を重ねていけば行くこともできると思います。

(会長より) 市からの補助金をもらわずに進めることは出来ますか。資金をもらわないことで、自由に出来ることも良くありますね。

(校長より) 家庭教育学級は交流センターの事業になり、それをPTAの中で行っていることになりまして、年度初めの事業計画と指導員との打ち合わせと行う事業に関する予算を市からいただいているので予算をもらわないで行うというのは出来るかどうかは分からない。

(文化委員より) 活動費は7万円、市からの助成金が5万円。その中からボランティアさんへの謝礼も出る。

(会計・副会長より) 回数は決まっていますか。5回から3回開催にするなど回数が変わることで助成金が変わることはないですか。

(文化委員より) 回数はこちらで決めることが出来ます。ただ、指導員の指示の元、いろんな講座を入れると(教育的な講座、母の癒やしの講座やスポーツなど)5つぐらいになります。

(会計より) 毎回参加する人数は同じくらいですか。

(文化委員より) 講座によって変わりますが、調理などは人数をこちらで決めておりますので、少なくなりますが、前回の講義では60名くらいの参加でした。学年委員と一緒に出来るかについては一度、指導員の方と相談しなくてはならないと思います。

(会長より) 個別な学年と共に活動する形に変えることが出来るかの提案であり、難しい場合には文化・学年との結びつきは成立しない。

(文化委員より) 学年委員さんは恐らく知り合いの中から講師の方を選定していると思いますが、文化委員会がもっている過去からの講師の方々に関する情報を共有することは出来る。

(2学年委員より) 学年委員からのお手伝いはどこまでの内容で考えておりますか。講座内容検討時からの参加なのかまたは会場準備程度のお手伝いで良いのか。

(会長より) あまり大きなことは出来ないと考えております。各学年に対応出来るような講座の開催と親子視聴覚の講座での会場準備などが出来ると思います。学年委員の仕事量が今の3倍にはならず、1.3倍あたりで収まると思います。あまり大きく助けてしまいますとかえって文化委員会が急に24人をまとめることになり、返って大変になってしまう恐れがありますので。

(1学年委員より) お話を伺っていると「文化委員会の大変な業務に対して、学年委員かの全面協力を要請し、双方の仕事の取捨選択をする。」とは内容が異なるようですが。また、学年委員の仕事がなくなり、一緒になるわけではないのですか。

(会長より) 異なるとは思っておりませんが、一緒になる可能性もなくはないと思っております。文化委員の仕事が減らすことが目的です。

(2学年委員より) 毎回毎回、準備が大変ならば文化さんの講座数を減らすことは出来ませんか。

(文化委員より) 多少減らすことは出来ると思いますが、家庭教育学級の指導員のお考え、助成金も出てい

ますので今のような状況になっております。

(会計より) これは必要なのかなと思える講座もありますが。

(校長より) 以前、小さな学校にて、家庭教育学級の担当を行いました。親としての育ちとか横の交流を図ることなどが家庭教育学級の狙いになってきます。知識を得ること、横の交流を図ること、体を鍛えることなどが必要だよねと言われたら断りにくいし、しかも主体は交流センターの指導員であって、なかなかこちらから必要ですかとは言いにくい。また、今まで行ってきたものをやりませんとは言いがたい。例えば毎年行っている1学年の給食試食会を無くして、文化委員会の家庭教育学級とある講座を共同に仕事を分担しながら開催するというものいかなかなものかなと思います。文化さんの講座と各学年が希望する講座内容について家庭教育学級の指導員さんも含め、みんなで話し合えれば良いのですが、主体が別であるためにそれも難しいという現状がある。また、お互いの希望する講座が当てはまり開催するのも良いのですが、そうすると学年の主体性はどうなるのかと思います。形としては非常に良い形なのですが、実際にはなかなか難しい。

(会計より) 主体はPTAなので、PTAが決めれば良いことでは。

(校長より) 家庭教育学級はPTAが主体ではなく交流センターが主体になります。それを単Pの中で行っている。

(教頭より) 負担軽減であれば毎年行っています親子視聴覚を毎年の開催ではなく3年に1度にするなど、回数を減らしても良いのではないのでしょうか。

(会長より) これを機会になるべく子どもに近いところで、共働き家庭が多い中で昼間から活動しなくてはならない状況を少しでも改善できるように検討していただきたいと思います。無理がある活動は続かないと思います。

(5学年委員より) 委員と話し合う予定ですが、次回の運営委員会までに5年委員としての意見をまとめておいた方がよろしいのでしょうか。

(会長より) 実際には文化委員さんと話し合わなければまとまらない話になると思いますが、身近に文化委員経験者の方がいれば実際に何が出来るのかについて検討することが出来ますね。この後、何年もこの状態で行っていくことになると思いますので、少しずつでも何かしら変わっていければと思います。

(5学年委員より) 学年委員の仕事は緊急時のメール連絡があるので緊急連絡網への責任者としての協力はありますが、電話を流すことはほとんどありません。そして、第5学年として今年度の親睦会を年2回→1回の開催にしました。委員も仕事をしている中での準備ですし、内容も文化委員さんとバッチングすることもあるので、共に活動を行うのもいいのではとも思っておりました。5年生になるとすでに横のつながりはある程度あるので、今回はお母さん向けの内容も含めた親子で行うフットケア講座を開催することになりました。学校公開も多いし、家庭科等の授業へのボランティア協力もありますので、今年度は年1回の講座開催に絞りました。

(会長より) 随時、出来そうだという内容は検討していただきたいと思います。

(5学年委員より) 文化学年という名目にして、学年担当というチーム分けで仕事を行ったらどうでしょう。

(副会長より) 学年によって、活動内容に濃淡がありますね。今まで行ってきた講座を続けた方が良く、なくなっても良さそうだという講座もありますね。

(会長より) 選考委員アンケートを出すときには、皆さんの意見をなるべく吸い上げるようなアンケートにして、何も決まらなければ従来通りで、意思決定をするまでに、運営委員会で何かしらの意向が決まればそちらにふるという形で良いのではないのでしょうか。

(選考委員より) 次の運営委員会前に選考アンケートを配布・送信と言うことでしたが、夏休み中に行うということではなく、9月上旬に行うということですか。

(会長より) 夏休み中に行うということではなく、次回運営委員会(9/X)の後に選考アンケートを出していただく方が良いです。

(議事進行:副会長より) 第4回運営委員会までにそれぞれの委員会での意見を吸い上げていただき、運営委員会にて意見を出していただいて合意をとってアンケートにもっていくという形でよろしいでしょうか。→承認されました。

2. 並木夏祭り巡視について

(会長より)皆様方への並木夏祭りへのご協力をお願いいたしましたが、安全面においても何かしらの活動を行った方が良くだろうということで巡視を考えました。しかし、皆様それぞれに並木夏祭りでの活動がありますので、巡視のみに人手を出すことは難しいので、有志という形で祭りに行かれる方や参加する方に黄色の腕章(P T A本部)着用をお願いし、子ども達の安全等を見守っていただきたいと思います。校外生活委員会にもご協力いただけるとのことです。桜南小と並木中のP T A会長にも打診致しました。祭りに参加される役員の方などがいたら、安全防犯を意図していると分かるように参加して下さいとお願いしております。また、****教頭にも緊急メールにて安全と防犯に心がけて参加いただくように配信をお願い致しました。

(副会長より)特に巡視の時間を決めて行うというものではありません。本来でしたら広く皆様方へ参加をお願いするところですが、今回はここにいらっしゃる皆様方の中でお祭りに参加下さる方に腕章着用をお願いし、各活動を行っていただきたいと思います。P T A本部腕章をお渡しいたします。

(書記より)すでに安全パトロール腕章をお持ちの方はそれでも構いません。よろしく願いいたします。

(校外生活委員会より)春に安全パトロール腕章協力募集の案内を出す際、その案内文書に夏祭りの時の巡視にもご協力いただきたい旨を盛り込んだら良いのではないかと思います。もう少し早く気がつけば安全パトロール腕章にご協力いただいている方へ文書等の連絡をもって、夏祭りでの腕章着用協力をお願いできたかもしれません。今年はここに集まった方々へお願いできたらと思いますので、皆様、ご協力をよろしく願いいたします。

→校外生活委員会含む有志による腕章着用について承認されました。

報告事項

1. 並木小P T Aボランティアグループからの活動報告 (①インターネット ②お手伝い隊)

①インターネット(****さん)

活動内容は並木小P T AのHP (ホームページ) の関係で、昨年度から仕事を引き継いでおります。昨年はイベントカレンダーで読み聞かせボランティアからの依頼を受けて、次の活動内容を掲載したり、個人情報問い合わせを通常のブログ形式とは異なる固定ページとして作成したり、今年には会長からの依頼でP T Aからの配布資料アップを行っております。HP記事の更新を行っており、作成して欲しいと頼まれたことを作成しております。

課題は一人で対応している点です。インターネット上にあるツールを用いて作成しておりますので、ご興味があれば参加していただくこともできます。特にあらたなメンバーは募集しておりません。

(会計より)レンタル料など活動費は今のままで大丈夫ですか。

(**さんより)レンタルサーバーはさくらインターネットさんで年間8,000円かかります。

(会長より)アンケート作成を一緒に行っていただくかもしれませんので、よろしく願いいたします。

②お手伝い隊(****さん; 並木小学校元P T A会長)

お手伝い隊は以前から設立されていましたが、実際には活動が少なかったため(クリスマスツリーの設置等)、2年半前その存続を手伝い隊・P T A本部・学校で検討しました。結果、「先生方が雑務に振り回され本業に支障が出てしまっは、結局自分の子どもたちにとって良くない」という設立理念は重要」との判断から継続を決定、本格的な活動を開始しています。

活動内容については当時の教頭先生と協議、プール清掃や植栽の整備から始めました。並木小は植栽(緑)が非常に多いと聞いていて、現在の活動も植栽整備がベースとなっています。昨年は側溝整備や桜の木の補修等も行いました。今年は、植栽整備をサボってしまっていて申し訳ありませんが、プール清掃・防災会議への参加・防災倉庫内設備の試し組み立て・冷水機の整備等を行いました。学校の花壇をお借りしたグリーンカーテンとしてメロン栽培も試しています。もし収穫できれば、学びの広場で子どもたちに試食、あるいは収穫がもっと先であれば奉仕作業に参加する子どもたちに試食、などと考えています。並木夏祭りで(並木小として)花の苗販売を行います。売上げの用途ですが、花栽培用資材購入・手伝い隊活動資金・寄付を考えていて、学校と相談しながら決定したいと思います。将来的には子どもたちが愉しめるような活動を行いたいと考えています。現時点、防災キャンプ等はどうか、と……。

現在、まだ活動内容は定まっていますが、都度、機動性高くスピーディーに対応することを目指してい

ます。ただし、活動の多くは、隊員だけではムリです。隊はあくまで企画、実働は保護者の皆様と一緒に、が多くなると考えます。

課題は“お金”と“女性（の参加）”です。“お金”ですが、今年は予算として3万円計上させていただきました。これは普段の活動（補修等）に使いたいと思いますが、急遽高額なモノを購入しなければならないことが発生するかもしれません。その際にご相談させて下さい。“女性”ですが、お手伝い隊はどうか「親父だけの会」と思われているようで……。確かに現在の隊員は全員男性ですが、そうなるとう企画・気づき・解決方法等が偏ってしまっているような気がしています。ぜひ女性にもご加入いただき、女性の視点からのご助言・ご意見を頂戴できればと思います。

（会長）今年の売り上げはすぐに使った方がよい。留保しない方がよいので今年度中に執行して下さい。PTA会員への説明義務生じますので。

（会計より）予算的には年間3万円で大丈夫ですか。

（**さんより）昨年度の桜の木の補修材がかなり高額になりましたが、今年も同様にかかるかどうかは分かりませんが、3万円の範囲内で活動を行って行きたいと思います。今後2、3年活動すれば予算的に確定してくるのではないかと思います。

（4学年委員より）冷水機の補修を子どもが大変喜んでいました。ありがとうございます。

（**さんより）冷水機は卒業記念品のため、補修を市では行えないので、修理を行いました。

現在の隊員は9名であり、活動内容によって人手が足りない場合はすぐに保護者の方へ募集をかけ、対応してきておりますが、夏休み明けの9月には隊員募集文書を配布する予定です。

2. 第3回並木夏祭り実行委員会（7/X開催）について

（会長より）並木小からは行ったアンケートの結果について報告いたしました。お手伝いにご協力いただく方は7名になります。アンケートのおかげで児童館・子ども会に対してはモチベーション（＝やる気）を上げるようになったようで、お化け屋敷に関しては人手が足りるようになりました。ただ、他の場所に関してはまだ足りておらず、いつでも参加して下さいとのことでした。小学校としてどこまで参加すれば良いのか判断するのは難しいがなるべく子どもたちに直接関係のあるところで上手く方向性を出せたら良いと考えております。個人的には夏祭りが開催できなくなるという脅迫ではなく、自分たちで何ができるかを考え、できる範囲で行って行くのが良いのではと考えております。今年も安全に楽しめたらと思います。

3. つくば市PTA連絡協議会 第1回定期連絡会（6/XX開催）について

（会長より）教頭先生と一緒に参加して参りました。場所は豊里の交流センターで、会議自体は30分で終わり、内容のほとんどは県P連の話と同様でした。特に何か要望があれば、市P連まで挙げて下さいとのことです。会議の配布文書を並木小PTA—HPの配布書類のページに掲載しておりますのでご確認下さい。

4. 女性ネットワーク委員会（6/XX開催）について

（副会長より）本部の**と**で参加、講師は吾妻小PTAの長屋和宏氏（国土交通省勤務、労災士、AZUMA学園 防災教育モデル事業地域コーディネーター）であり、「学校が避難所になる時、何をすべきか」をテーマに防災関係の講演とワークショップを体験して参りました。会場は市民ホールつくばねで、北条小学校の見取り図を渡され避難所になったときに実際にどういうふうに配置をしていくのかということ6名ぐらいのグループで話し合っ参りました。実際に自分たちが主体的に考えて行かなくていけないときの大変さを感じました。講演の中で、小学校高学年の子どもたちは体力的にも知力的にも大人に勝るとも劣らず、守られる立場ではなく、お年寄りや小さな子どもたちを支える立場であるという話が印象に残りました。

（書記より）小学校が実際に避難所になったときは市が運営を行ってくれるのではなく、自分たちでの自主運営であるという受け身ではなく自分たちで考えて行動して行かなければならないということが印象に残りました。

（会長より）そのような時に「地域の軸」が使えるのではないのでしょうか。

5. つくば市PTA連絡協議会 東部ブロック会議（7/X開催）について

（会長より）古来（ふるく）の八千代という割烹で開催、桜並木学園（並木中・桜南小・並木小）のPTA会

長が初めて顔を合わせ共に頑張りましょうという話し合いをもつことが出来、非常に良かったと思いました。校長先生も参加されております。学園（桜、吾妻、竹園、桜並木、春日）毎に、それぞれの取り組みを説明しました。印象が深かったのは、吾妻学園で行われている1／1体制（いちいち：1小+1中）で、PTA組織自身がパートナーシップ協定を結び委員会の情報をシェアしており、非常に進んでいるなど感じました。桜並木学園では3校ですので、なかなか難しいかもしれないが何とかやって行きたいと感じました。

6. 各委員会より活動報告（別表）

その他

第3回運営委員会報告 速報版配布について

（書記より）今回の運営委員会報告の抜粋版の配布を夏休み前に予定しております。

****校長より

並木小学校PTA広報誌のコンクール入選おめでとうございます。一生懸命活動して下さるPTA役員さんのおかげです。3年生の親睦会の内容がタイムリーな企画であり全校に案内を出させていただきました。また、他校からの参加者にも好評でした。ここ4ヶ月、子どもたちが大きく成長していると思います。先日の7/Xの全校集会にて、ある学年が遅れて入ってきたのですが、暑い中で1年生も含めたどの学年でも落ち着いて静かにまた、今どうすれば良いのか考えて待っている姿は他には見られない姿ではないかと思います。全校集会の中で子どもたちの活動の報告をどんどん取り入れるようにいたしました。運動会の団長を努めた二人の報告、G7の環境相会議でイギリスの環境省への花束贈呈を行った子どもの発表など子どもたち自身の力で伝えさせることは大きく成長させることにつながると思います。団長を務めた児童へ発表の感想を伝えたところ、「みんなが支えてくれましたから。」という感想が返ってきて涙が出る思いで聞きました。その子自身が自分の活動をしっかり振り返り、人の気持ちの温かさにふれて自分や友達の成長を感じることができたのではないかなと思ってうれしくなりました。今年から4年生が1年生のお世話に行っていますが、返ってくる4年生に聞くと「みんな良い子でした。」と感想を述べて教室に戻っております。いろんなことを通して子どもたちの成長を促していけたらと思います。

学校を開くということ今年最初にお伝え致しました。学校公開日を数多く設け、今まで土曜日の引き渡し訓練などを含めた2回公開日を催させていただきましたが、たくさんの方に来て頂いて、知ってもらい、理解してもらいということ私達にとって大きな力（支えて頂く土台）となります。土曜日の開催でしたのでご夫婦での参加の方が多く、ご両親で学校でのお子様の姿に関心をもってもらうことは非常に良いことだと思います。これからもそのような機会を設けたいと思います。

一方では安心・安全の面では、無駄な遅刻が多いのが心配です。並木小は登校班がないため遅刻が多く、防止のために、昨年度から通知表に遅刻の回数を記入しております。遅れて来るときに連絡がないので連絡をとると子どもを出す前にご出勤されていたりする場合もあり仕方がないのかもしれませんが、どなたか近所の方に声をかけてもらうなどしていただきたいと思います。近隣公園には植え込みや池などの危険な場所もあり、小さな子どもたちに付き添って途中まで来て下さる方もいらっしゃいますが、遅れて学校に来たときには「行っておいで。」ではなく、ご面倒でも担任または職員に児童を渡してもらいたいと思います。ご協力よろしく願いいたします。

プランターを投げ込まれたり、近辺で発砲事件があったりしましたが、子どもたちは元気に過ごすことができました。夏休み明けの9月からも子どもたちと向き合っていきたいと思いますが、特に本物に触れる感性を磨く活動に力を入れていきたいと思います。9月には5、6年生を対象に音楽の授業で邦楽、和楽器を演奏するチームをお呼びしてワークショップと演奏会を行います。演奏会には並木中と桜南小をお呼びしております。ご案内いたしますので、ぜひ、参加していただきたいと思います。6年生は劇団四季の舞台を鑑賞して参ります。11月にはご苦勞をかけております親子視聴覚教室もあります。子どもたちは本物を目の当たりにして、成長する機会になるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

****教頭より

前年度、第1期設置工事で低学年棟と相談学級棟にエアコンが入りました。第2期設置工事（A棟1階部分と6年生教室への設置工事）が夏休み中に入ってから、11月XX日の引き渡しを目指して工事が進められます。来年度の第3期工事で全ての教室にエアコンがつくようになります。昨年度と同様に西門（プール

門)の方に資材置き場が設けられ、工事車両が出入りするようになります。夏休み中にできるだけ教室関係を行い、9月の土日に教室の中の工事、それ以降に外回りの工事を進めていただくこととなります。子どもたちが登下校をするときは車両の出入りはありませんが、夏休みの学びの広場などの際に車が出入りする場合がありますので、必ず人がついてもらうようにしております。子どもたちにも注意喚起を行って行きたいと思っております。土日も行いますので、充分に気をつけていただきたいと思います。

谷田部中にてつくばチャレンジングスタディについての講座に参加して参りました。家庭学習の補助ということでつくばオンラインスタディをリニューアルいたしました。Windows, iOS, Android 対応となり、入り方は今までと同じでIDも298、パスワードは1になります。今までの1万問から7万問の問題数になりました。内容は基礎的なものから発展的な問題もありますので、ぜひ、使っていただきたいと思います。夏休み中に行われる個人面談の際に担任から案内文書とチャレンジカードについての説明がありますのでよろしくお願いたします。

(会長より) 奉仕作業が8月末に予定されておりますが、9月への変更を小学校にお願いしましたが。

(教頭より) 例年、第2回奉仕作業参加者が少ないこと、また、まつりつくばと重なっていることでより参加者が少ないと思っております。並木小の子どもたちも30人、桜並木学園として合わせて100人近くでまつりつくばに参加することとなりますので夏休み前に、変更することが決まりましたら、手紙にてお知らせいたします。

次回(第4回)運営委員会開催予定

9月X日(X) XX時XX分からPTA室(当日審議の上、確定)

各委員会からの報告締め切り 8月XX日(X)

(議事録: 運営本部書記 ****/****)

(別表) 委員会および本部主要活動報告と活動予定

委員会	活動報告		活動予定	
第1学年委員会	7/X	給食試食会反省会		特になし
第2学年委員会	7/X	第2回目親睦会打ち合わせ		第2回目親睦会目親睦会打ち合わせ
第3学年委員会	6/XX 6/XX	第1回親睦会(6/27)打ち合わせ 第1回親睦会開催		特になし
第4学年委員会	7/X	星空観測会打ち合わせ 講師と日程調整中		星空観測会日時決定
第5学年委員会	7/X 7/X	親子親睦会打合せ 親子親睦会		特になし
第6学年委員会	7/XX	陸上記録会に関する打ち合わせ	8月中	陸上記録会、茶話会に関する打ち合わせ
広報委員会	6/XX 6/XX 6/XX 7/X 7/X	再校、印刷会社より届く。学校決裁へ出す。 再校戻し。念校届く。校了。 「なみき vol.89」納品、発行。 広報後期へ引継ぎ 菱沼先生へ挨拶		特になし
文化委員会	6/XX	第3回ドレッシング講座依頼書作成	7月中	第3回講座 「季節の野菜を美味しく食べよう! ドレッシング・マリネ・ディップ」配布文書作成
校外生活委員会	6/XX 6/XX 7/XX 7/XX	「校外生活委員会便 No.1」印刷 防犯プレート3種の作成 「防犯プレートマップ」の設置場所確認・分担・補修再設置開始 「校外生活委員会便 No.1」配布 校外ノート(4~7月分)チェック・コピー 防犯プレート不足分の最終作成	7/XX 7/XX 7/XX	並木夏祭り巡視 校外ノート(4~7月分)最終チェック・コピー 安全パトロールセットの確認・補修 防犯プレート補修・設置完了 PTA校外生活委員会三校連絡協議会
選考委員会		特になし	7, 8月	役員選出アンケート案作成
本部	6/XX 6/XX 7/X 7/X 7/X 7/XX	市P連 第1回定期連絡会 市P連 女性ネットワーク委員会 市P連 東部ブロック会議 第3回並木夏祭り実行委員会 第2回運営委員会報告配布 第3回運営委員会開催	7/XX 7/XX 7/XX 7/XX 8/X	並木夏祭り巡視 第3回運営委員会報告(速報版)配布 桜並木学園三校連絡会・懇親会 PTA校外生活委員会三校連絡協議会 並木小保健委員会